

流星課月例報告 (52)

例年の如く、ペルセウス流星期に當つてゐる爲観測者、観測數ともに多い。殊に八月は観測時間合計160時間に及び、観測流星數は實に4664個に上つてゐる。今回は下記の新観測者を御紹介する。

川島 晃君 鹿児島市上荒田町 2070

丸山金彦君 臺灣基隆市仙洞町 100

笠原貞芳君 長野縣諏訪郡中洲村神宮寺

武田 江君 Alliança, S. Paulo, Brasil

流星群の出現状況

I. 七月末の水瓶座流星群

南米の勝浦君と鳥取縣の本田君とによつて観測されてゐる。観測數はあまり多くないので出現状態は適確に判明しない。勝浦君の30日及31日の兩夜の観測によれば輻射點は二個に分れる。

II. 八月のペルセウス流星群

月初より20日頃までに互つて観測されてゐる。出現の最も盛であつたのは13日拂曉であつた。同日2時より3時の間に見られた全天のペルセウス流星の數は少くとも百數十個に及んでゐた様である。(長府班及金星班にて行ひたる協同観測は甚だ興味のあるものであるが別の機會に述べるつもりである。) 10日以前のものは例年よりもやゝ寡少であつた様に見受けられた。大光度の流星は少かつた様である。

III. 八月中旬の魚座 γ 流星群

南米の大窪君によつて八月中旬に魚座 γ 流星群の観測が行はれてゐるが、其の範圍は實に7日より22日に互つて計30個を観測してゐる。極大は16日にあつた。

IV. 其他の流星群

勝浦君及大窪君によつて七月末から八月上旬に互つて小狐座流星群が觀測されてゐる。Ok 氏によれば8月1日の一時間平均出現數は 3.4個, Factor による修正値は 5.7 個である。

大窪君は又8月4日より9日に互つて水瓶座 θ 附近に一流星群の活動せるを認めてゐるが, 5日は極大にあたり一時間の平均出現數は 3.2 個, Factor による修正値は 5.3 個である。

宇野君の8月6日の觀測中にカシオペア γ 附近 ($\alpha=16^\circ, \delta=+62^\circ$) 及アンドロメ座 ($\alpha=35^\circ, \delta=+47^\circ$) に夫々流星群を見られてゐるがあまり顯著なものではなかつた様である。

遊星面課月報 (1935年3月)

概況 上月より中旬にかけては天候も割合によかつた。下旬は潰れてしまつた。火星の接近を控えて、觀測も少し集つた。

火星 觀測は

日 付	觀 測 者	機 械 口 徑	シ イ ン グ	中 央 經 度
2月 28日	木 邊	25 cm	4	300
3月 8	” ”	”	4—5	218
9	前 田	10 cm	8—9	235
11	” ”	”	4	285
12	” ”	”	7	230
12	” ”	”	7	270
14	” ”	”	4—8	169
16	” ”	”	4—7	180
17	木 邊	25 cm	7—5	129
22	” ”	21 cm	4	81
22	前 田	10 cm	7	88
23	” ”	”	9	114
25	” ”	”	8	56
26	” ”	”	6	65
26	西 川	15 cm	7	?
30	木 邊	20 cm	5	13

現在北半球の方がよく見える状態なので、模様が多い南半球が見難く一體に淋しい。北極冠は視直徑1秒位に縮小して相當輝いて居るが口徑が小さいと見難い。上月中央緯度が 300° — 200° 度の頃に、前田氏はニロシルチス、ネペンテス、ケルベルスの運河を認め、木邊氏もケルベルスを認めて居る。中

でもケルベルスが最も濃い様で幾分曲つて描かれて居る。下旬に入つてアシ
ダリウムは非常に濃く 10cm では樂に見えて居る。(幹事)

變光星課報告 (26)

倉敷 小山 秋 雄

3 月中の觀測報告數

觀測者	今(吹田)	木(滋賀)	加(大阪)	沓(長野)	高(京都)	笹(池田)	森(横濱)	伊(雲雀丘)	佃(京都)	鈴(大阪)	小(名古屋)	井(大阪)	松(臺中)	西(大阪)	西(大阪)	合計
星 數	17	20	11	11	1	5	1	0	5	0	13	1	1	0	3	51
觀測數	115	261	121	71	5	24	6	0	24	0	116	9	4	0	36	792

星別觀測數

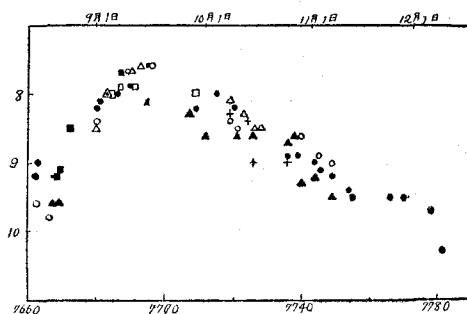
星 名	數	觀 測 者	星 名	數	觀 測 者
RX And	13	木邊, 沓掛	U "	3	小澤
ε Aur	17	今津, 小澤	g "	3	"
RW "	24	木邊, 沓掛	α "	2	"
SS "	26	木邊, 沓掛, 今津	η "	2	"
AB "	9	今津	U Hya	3	"
AG "	8	"	V "	4	今津
Z Cam	24	木邊, 沓掛	W "	2	笹部
R Cnc	13	加藤	R Leo	12	今津, 沓掛
RV "	9	木邊	X "	14	木邊
R CMa	3	小澤	V Mon	17	加藤
R CMi	6	沓掛, 佃	α Ori	27	加藤, 小澤
S "	11	木邊	U "	21	今津, 佃
α Cas	21	小澤	BI "	24	木邊
ρ "	8	今津	BL "	14	"
ο Cet	30	今津, 木邊, 加藤, 笹部, 小澤, 西井	CN "	16	"
R Cor	17	今津, 木邊, 笹部	CZ "	13	"
R Crv	5	笹部	β Per	15	西井
γ Cyg	5	今津	TZ "	19	木邊, 沓掛
SS "	3	今津	UV "	28	木邊
η Gem	24	小澤	R Sct	4	今津
ε "	20	加藤, 小澤	Y Tau	23	今津, 木邊, 加藤, 佃
U "	25	木邊, 沓掛	SU "	14	今津, 沓掛
AU "	7	木邊	R Tri	15	加藤
AW "	30	"	SU UMa	8	沓掛
Nova Her	102	今津, 木邊, 加藤, 沓掛, 高井, 笹部, 森久保, 佃, 小澤, 井澤, 松本, 西井	R Vir	14	加藤
			SW "	7	"

●觀測報告の詳細は課報(毎月中旬發行・謄寫版刷・小山宛照會)及花山プレテンを見
られたい。

來6月極大に達するミラ型星

(本誌104頁参照)

星 名	平均極大光度	極大豫定日
R And	6.9	6月14日
V Cnc	7.7	6 29
T Cen	6.1	6 6
W Cet	7.4	6 28
W Hya	7	6 23
X Mon	7.3	6 2
SW Vir	6.8	6 6



黃 道 光 課

1935年4月現在課員

氏 名	略 符	觀 測 地	東 經	北 緯	ZL觀測番號
下保茂	Kh	北海道札幌市	141° 23'	43° 3'	No. 204
沓掛七二	Kt	長野縣青木村	138 10	36 25	40
廣瀨永治	Hr	岐阜縣美濃町	136 55	35 33	102
寺瀨太郎	Tr	愛知縣豐山村	136 55	35 14	39
宇野行雄	Un	京 都 市	135 45	35 2	20
笹部田	Ss	大阪府池田町	135 25	34 50	38
本野一實	Hd	鳥取縣八東村	134 20	35 21	45
淺田英之助	As	山口縣長府町	131 00	34 1	53
中野繁	Nk	大分縣中津市	131 35	33 35	14
富松清男	Tm	沖繩縣首里市	127 8	26 23	5
井上直恒	Mt	臺灣臺中市	120 42	24 9	40
渡邊恒夫	In	佐賀縣小城町	130 12	33 17	2月より
山田實	Wt	大分縣杵築町	131 37	33 25	4月より
福井信	Ym	門司市大里梅ノ木町			不 明
	Hk	鐵道官舎 井戸橋方	135 25	34 50	4月より

舊課員の復活！——永らく觀測を休まれてゐた下の二氏は、四月より新たなる意氣を以つて再び活躍されることゝなつた。

大阪府池田町元新町

福 井 實 信氏

大分縣杵築町上町

渡 邊 恒 夫氏

○星圖新版さる！

新版に當つて稍々縮小され觀測に便利となつた。星圖及び用紙は新版のものを使用されたし。

●今後星圖及び用紙は花山協會事務室高城氏宛請求されたし。尙私用控用星圖の御相談も同氏宛に。

○本年二月の概況報告は都合により次回へ。

(幹事)

(花山で見える) 掩 蔽 豫 報 (昭和十年六月)

星 名	光 級	潛 入 時 刻	位 置 角	出 現 時 刻	位 置 角	月 齡
Antares	1.2	日 時 分		日 時 分		日
12 Cap	6.1	16, 2:35.8	138°	16, 2:35.8	138°	14.4
170 B. Aqr	6.1	19, 23: 1.6	78	20, 0: 0.1	322	18.3
		22, 0:42.1	116	22, 1:52.1	265	20.3

太陽課 黒點相對數報告 (1935年三月)

觀測者(觀測地)	松本(臺灣臺中高女)	中村(朝鮮太田中學)	日野(松山師範學校)	改發(神戸市須磨區)	岡林(神戸市葺合)	荏部(神戸市灘區)	伊達(兵庫縣雲雀丘)	井澤(大阪市中區)	前田(京都市下京區)	木邊(滋賀縣中里村)	尾崎(宇治山田市)	沓掛(長野縣青木村)	清水(靜岡縣島田町)	森久保(橫濱市中區)	淺井(橫濱保土谷區)	水谷(東京市本郷區)	稻垣(東京市芝區)	進藤(東京市世田谷區)	千葉(岩手縣水澤町)	下保(札幌市豐平町)	
鏡徑耗	58	81	98	150	25	75	80	110	70	75	30	102	100	35	58	38	75	48	50	58	
倍率	40	58	69	68	50	77	70	92	40	60	50	75	73	50	60	50	30	44	50	44	
1	曇	24	12	14	13	25	16	休	12	忙	12	12	18	12	13	12	12	12	曇	曇	
2	16	12	12	欠	16	15	29		15	12	12	15	14	11	13	13	13	欠	雨	11	
3	曇	14	旅	欠	17	31	30		24	欠	12	30	26	24	11	12	12	14	11	12	11
4	22	13	12	11	12	12	14	測	12	12	11	26	16	11	11	12	13	11	12	11	
5	曇	14	11	11	12	23	14		11	11	11	11	29	11	11	11	12	11	11	11	11
6	曇	12	11	22	12	12	23		11	11	11	11	曇	14	11	忙	12	13	11	雨	11
7	曇	11	11	11	11	23	病	測	11	11	11	25	11	11	11	11	11	11	雪	11	
8	11	11	11	11	11	23	病		11	11	11	11	12	11	11	11	11	11	11	曇	11
9	24	25	23	24	23	25	病		11	22	23	22	曇	15	12	13	22	13	26	曇	11
10	19	12	忙	欠	14	15	病	測	12	15	14	曇	15	27	24	13	39	50	病	曇	
11	41	40	37	65	26	40	病		39	46	38	42	43	50	44	欠	28	55	53	病	75
12	42	52	24	74	61	68	病		56	61	45	43	46	79	44	25	30	53	29	病	76
13	56	53	忙	64	49	66	病	49	忙	31	53	44	46	56	35	55	53	48	42	70	
14	68	57	忙	44	69	63	病	66	65	62	64	曇	59	70	56	56	55	42	欠	54	
15	70	64	忙	57	67	72	病	58	66	52	曇	57	雨	曇	曇	36	56	50	曇	63	
16	73	57	忙	雨	58	64	病	48	56	雨	曇	欠	雨	曇	曇	36	56	54	曇	55	
17	66	54	37	雨	雨	57	病	50	56	曇	雨	45	忙	曇	曇	36	56	54	曇	39	
18	53	47	雨	雨	雨	57	病	50	曇	49	曇	雨	雨	曇	曇	曇	曇	曇	曇	27	
19	42	雨	雨	雨	雨	57	病	42	曇	曇	曇	欠	雨	曇	曇	曇	曇	曇	曇	27	
20	曇	24	曇	曇	曇	曇	病	15	曇	曇	曇	曇	雨	忙	雨	旅	旅	旅	忙	24	
21	曇	24	曇	曇	曇	曇	病	曇	曇	曇	曇	曇	雨	忙	雨	旅	旅	旅	曇	26	
22	雨	24	忙	0	0	0	病	16	雨	旅	雪	雨	曇	0	雨	雨	雨	雨	雨	14	
23	曇	14	曇	0	0	0	病	14	0	忙	旅	忙	曇	0	0	0	0	0	雨	0	
24	曇	13	曇	0	0	0	病	0	忙	0	旅	欠	曇	0	0	0	0	0	雨	0	
25	忙	曇	0	0	0	0	病	12	0	0	旅	欠	曇	0	0	0	0	0	雨	0	
26	忙	忙	忙	欠	欠	欠	病	24	0	0	旅	欠	曇	0	0	0	0	0	雨	0	
27	忙	忙	忙	欠	欠	欠	病		0	0	0	旅	欠	曇	0	0	0	0	0	雨	0
28	雨	0	雨	欠	欠	欠	病		0	0	0	旅	欠	曇	0	0	0	0	0	雨	0
29	0	雨	0	0	0	0	病		0	0	0	旅	欠	曇	0	0	0	0	0	雨	0
30	雨	0	0	0	0	0	病		0	0	0	旅	欠	曇	0	0	0	0	0	雨	0
31	0	0	0	0	0	0	病	0	0	0	旅	欠	曇	0	0	0	0	0	雨	0	
平均	36	29	18	23	28	21		24	27	25	34	33	24	19	22	24	23	18	22	28	
日數	18	24	17	18	27	13		27	20	19	20	18	23	18	23	22	19	13	24	22	

●整理保存の都合上黒點觀測報告用紙を統一したく目下考究中である。諸氏中もし意見希望等あらば御聞せ願ひたい。●岡林氏が新に觀測を送られた。當課の發展に大きな喜である。報告二月三分中都合上三月分だけを發表する。●稀にはあるが少々をかしな相對數がある。11が1であつたりg>fであつたり……之等は多分寫し間違ひかと思はれるが永久に保存される記録なのだから氣をつけていただきたい。●清水氏の寫眞觀測は1,2,3,4,6,8,9,11,12,14,15,17,19の13ヶ日に行はれた。